

令和6年11月6日

第11回定例会
議事録

文京区教育委員会

文京区教育委員会議事録

第 12 号

令和6年 第11回 定例会

日時：令和6年11月6日（水）午後2時4分

場所：区議会第二委員会室

「出席」	教 育 長	丹 羽 恵玲奈
	教育長職務代理者	清 水 俊 明
	委 員	坪 井 節 子
	委 員	福 田 雅
「説明のために出席した教育局職員」	教育推進部長	吉 田 雄 大
	教育総務課長	熱 田 直 道
	教育推進部副参事	宮 原 直 務
	教育指導課長	山 岸 健
	教育施設推進担当課長	藤 咲 秀 修
	児童青少年課長	鈴 木 大 助
	教育センター所長	木 口 正 和
	真砂中央図書館長	猪 岡 君 彦
「書記」	庶 務 係 長	大 川 育 子
	庶 務 係 主 事	星 考 貴

令和6年

第11回教育委員会定例会

令和6年11月6日(水)午後2時4分

場 所 第二委員会室

議事録署名人 坪井節子委員

第1 議案の審議

- 第56号議案 「子どもの多様な生き方を考える上映&座談会」の後援名義の使用について
- 第57号議案 幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 第58号議案 文京区立小石川図書館等の指定管理者の指定について
- 第59号議案 文京区立本郷図書館等の指定管理者の指定について

第2 報告事項

- (1) 令和5年度文京区一般会計歳入歳出(教育局)決算について (資料第1号)
- (2) 令和7年度重点施策について (資料第2号)
- (3) 元町公園の国文化財指定に向けた調査等の実施について (資料第3号)
- (4) 世界に向けた学びを紡ぐプロジェクトについて (資料第4号)
- (5) 文京区立児童館指定管理者の評価結果について (資料第5号)
- (6) 文京区立図書館の指定管理者候補者の選定結果について (資料第6号)

第3 その他の事項

《参考資料》事業(行事)実施状況及び各施設の利用状況等

整備工事を行っております。令和7年11月の竣工、12月の開園を予定しているところでございます。

このたび、竣工後速やかに文化財指定に向けた手続を進められるよう、必要な調査等を行うとともに、文化庁や東京都教育委員会との連絡調整・協議を行うものでございます。

2、調査の概要でございます。実施時期につきましては、令和6年11月から令和8年3月までになります。調査内容につきましては、資料に記載のとおりです。公園に関する史資料の収集・整理や、現状に関する環境調査などがございます。

3、調査範囲は元町公園の全域で、この資料の中で、点線で囲ってある部分が元町公園のエリアとなります。

4、今後のスケジュールでございます。令和8年度以降に文化庁や東京都教育委員会との本格的な協議を行いまして、文化庁への意見具申を行うことをゴールにしておりまして、そこに向けて今月から調査を行っていくというところでございます。

説明は以上です。

○丹羽教育長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

○清水委員 文化財というのはあまり手を加えてはいけない、そのまましておかなくてはいけないというイメージがあるんです。これはかなり整備を行って、形が変わっていくわけなんですけれども、その辺のところはどのようになっているのでしょうか。

○教育総務課長 今回、整備工事を行いますけれども、できた当時のものを可能な限り残すということで、いろいろ公園に必要な機能等は確保していかなければいけませんし、安全性もしっかりと確保しなければいけない。そういう改修は行いますけれども、公園そのものの基本的な部分については、可能な限り当時のものを残すという形で整備工事を実施しているところでございます。

○清水委員 建物も同じような形で残すようなところがありましたよね。

○教育総務課長 今回、このエリア外ではありますけれども、元町ウェルネスパークの部分につきましては、東棟のほうが保全施設ということで、当時のものを残しているところでございます。今回は公園部分の名勝指定になるので、その部分はエリアには含まれておりません。

○清水委員 わかりました。

○丹羽教育長 ほかにありますでしょうか。よろしいですか。

ありがとうございます。

(4) 世界に向けた学びを紡ぐプロジェクトについて

○丹羽教育長 それでは、続きまして、報告事項(4)「世界に向けた学びを紡ぐプロジェクトについて」でございます。

○教育施策推進担当課長 それでは、資料第4号、世界に向けた学びを紡ぐプロジェクトについて、ご報告いたします。

本プロジェクトは、将来の予測が困難であり、グローバル化がさらに進んだ社会で生き抜く力を子どもたちに身につけさせるため、国際バカロレア機構の協力のもと、取り組むものです。

具体的には、資料の2番、3番をご覧ください。

国際バカロレアの知見を生かした教員研修を令和7年度から実施し、教員がこれまでの指導方法を見直し、授業を変えていくことを目指します。この実現のため、教員研修プログラムを国際バカロレア機構に開発していただきます。また、令和6年度中の協定の締結を予定しております。加えて、令和7年度中に国際バカロレア機構と共催で、文京シビック大ホールでシンポジウムを開催し、このプロジェクトについて広く保護者、地域の方々に知っていただく機会としたいと考えております。

報告は以上です。

○丹羽教育長 この件につきまして、ご意見、ご質問等がありますでしょうか。

○清水委員 大変すばらしい取り組みで、文京区の公立中学校の魅力を高めるにも非常にいいと思いますし、また、生徒たちの探究心の育成に非常に役立つものだと思います。一方で、教える側、教員の負担にはならないのかどうか。なる可能性があるとしたら、それをどのように軽減していくのか。逆にまた、合理的な教育ができることによって負担が減る可能性があるか。その辺のところを教えていただければと思います。

○教育施策推進担当課長 教員研修をやるという意味では、やることがふえることになると思います。その場合、いかに研修をするかというところにかかってくると思うのですが、今まだ計画段階ではあるんですが、できるだけ教員の負担にかからないように、例えば夏休みに集中して行う、冬休みに集中して行うというような、授業がない日等に研修を集中して行うことなどで負担軽減を図ってまいります。

○清水委員 将来的には、それらが軌道に乗れば、そんなに負担にはならないと考えてよろしいですか。

○教育施策推進担当課長 我々としてはそのように考えてございます。

○丹羽教育長 ほかにいかがでしょうか

○福田委員 研修して、その効果はどうやって測定していくんですか、素朴な疑問として。

○教育施策推進担当課長 探究的な学びを視点とした授業改善ですので、いわゆる全国学力調査のように点数で出てくるものではないので、効果検証は非常に難しいと思っております。ただ、全国学力調査の中でも、生徒質問紙に、授業がどのように行われたかという質問がございます。そのような質問紙の中で、授業が充実してきている、探究的な学びが実践されてきている、そういったところを指標に評価していきたいと考えています。

○丹羽教育長 ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

ありがとうございます。

(5) 文京区立児童館指定管理者の評価結果について

○丹羽教育長 それでは、次に、報告事項(5)「文京区立児童館指定管理者の評価結果について」でございます。

○児童青少年課長 それでは、資料第5号をご覧ください。文京区立児童館指定管理者の評価結果について、ご報告いたします。

千石児童館の運営を行っている株式会社日本保育サービスの令和5年度の運営実績について評価